

都市再生整備計画 事後評価シート
滝川水辺周辺地区

令和7年2月

奈良県上牧町

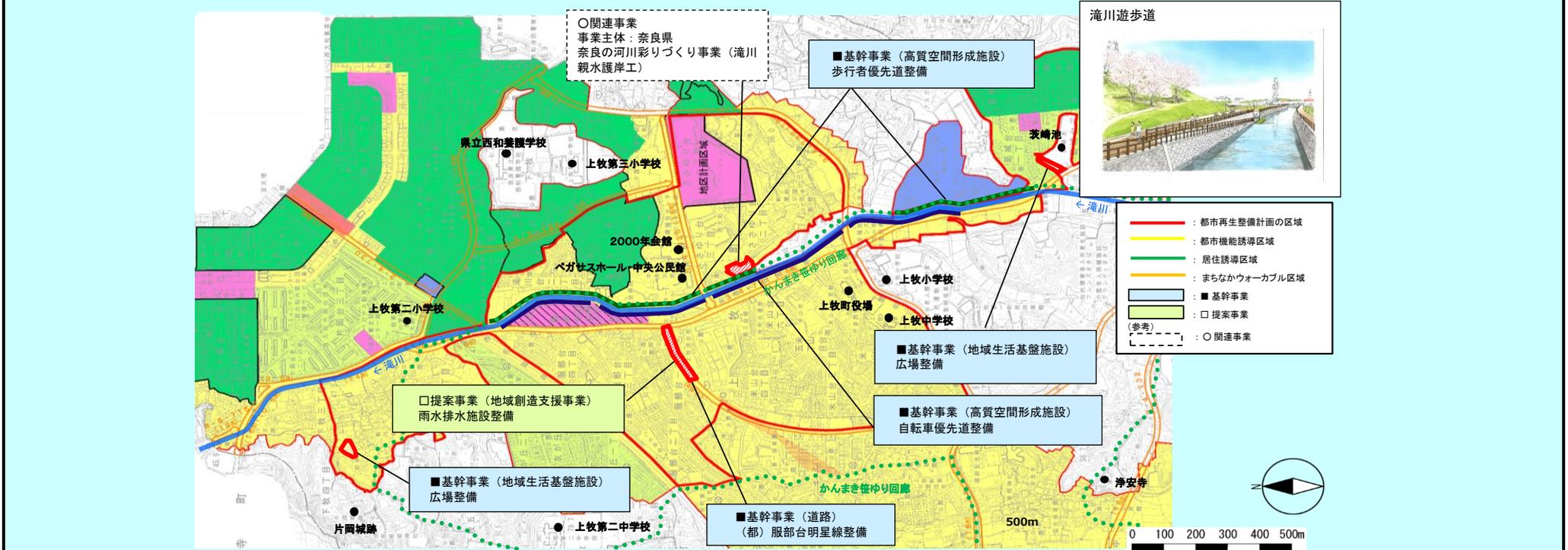
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	奈良県		市町村名	上牧町		地区名	滝川水辺周辺地区			面積	150.6ha		
交付期間	平成30年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和6年度		交付対象事業費	737.6百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 地域生活基盤施設(広場整備事業)、高質空間形成施設(自転車優先道整備、歩行者優先道整備)、										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	まちづくり活動推進事業(花いっぱい運動)			事業実施見込みがなくなったため。			影響なし				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	地域創造支援事業(雨水排水施設整備)			当初、雨水排水本管について既存埋設管を生かし、道路部分を横断する管渠のみ付替える予定だったが、既設管の老朽化及び昨今の集中豪雨等による水害被害の対策が必要と考えられ、雨水排水本管のルート変更及び整備の必要性が生じたため。			影響なし				
交付期間の変更	当初	平成30年度～令和4年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	—											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	滝川周辺の整備における住民の満足度	%	14	H27	50	R5	—	71	○	あり なし	遊歩道の照明施設・舗装の整備等により、歩行環境が改善されたことが評価され、満足度が向上したと考えられる。	予定なし
	指標2	滝川遊歩道利用者数	人	550	H29	660	R5	—	700	○	あり なし	公園の整備と遊歩道を整備したことで、交流促進や回遊性が向上した結果、目標達成に至ったと考えられる。	予定なし
	指標3	交通事故件数	件	14	H29	8	R5	—	12	△	あり なし	● 目標値は達成していないものの供用が開始され利便性・安全性の高い道路環境が創出されたことにより、従前に比べ改善が認められる。	予定なし
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	官民連携による取組	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									

様式2-2 地区の概要

滝川水辺周辺地区(奈良県上牧町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
本町には上牧久渡古墳群や片岡城跡等の歴史文化遺産や秩父池周辺等の豊かな自然環境が点在しており、水辺空間を利用した滝川周辺を整備することにより、これらの地域資源を繋いだルートを「かんまき笹ゆり回廊」と位置付け、歴史文化や自然環境を保全するとともに、上牧らしい新たな地域資源の形成を図る。また、滝川の水辺周辺地区を活用し、幅広い世代が交流できる場を創出することで、地域コミュニティの活性化を図り、地域で支え合い暮らしているまちづくりを目指す。 目標1: 世代を超えた町民間の交流の場の創出による地域コミュニティの活性化を図る。 目標2: 滝川の水辺空間を活かした、安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成を図る。 目標3: 滝川周辺へのアクセス性の向上、歩行者・自転車の交通安全性、交通快適性の向上を図る。	滝川周辺の整備における住民の満足度 単位: %	14 H27	50 R5	71 R5
	滝川遊歩道利用者数 単位: 人	550 H29	660 R5	700 R5
	交通事故件数 単位: 件	14 H29	8 R5	12 R6
	単位:	H	R	R
	単位:	H	R	R



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の主要な道路である(都)服部台明星線の未整備区間の供用が開始され、道路ネットワークの整備により安全で快適な交通環境が形成され、歩行者・自転車の交通安全性・快適性が向上した。 ・町内を循環する「かんまき笹ゆり回廊」整備の一環として、滝川沿いにおいて身近に自然と触れることのできる快適でうらおいのある遊歩道の整備が完了し、滝川の水辺空間を活かした安全で安心して歩いて楽しめる空間づくり、景観の形成が図られた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・「かんまき笹ゆり回廊」の中核である遊歩道が整備されたが、今後は歴史文化資源や地域資源などの自然環境を巡ることができるネットワーク整備することで、住民が楽しみ、憩える場所・楽しく歩けるウォーカブルな空間づくりによる回遊性の向上に努める。 ・「かんまき笹ゆり回廊」のルートについて広く町内外に周知し、さらなる集客を目指して歴史・文化・自然の魅力を感じられるウォーキングイベント等の事業を展開する必要がある。